

提携：SCSとサイバーテック、リッチクライアントとXML DBを連携

掲載日：2010/06/10

住商情報システム株式会社(SCS)と株式会社サイバーテックはアライアンス・パートナー契約を締結し、SCSの[リッチクライアント](#)「[Curl](#)」とサイバーテックのXML DB「NeoCoreXMS」を連携することで、ExcelやRDBベースのシステムから“やわらかい[Webアプリケーション](#)”への移行を促進すると、発表した。

「[Curl](#)」は、クライアントサイドに特化し、[Webアプリケーション](#)のユーザ・インタフェースを向上できるWeb[プログラミング言語](#)。HTMLのようなテキストフォーマットから3Dグラフィックスまで、広範囲に亘る開発記述に対応でき、帳票のレイアウト構築から印刷までクライアントサイドで行なうことができる。更に、OS/メーカを問わず、様々な[サーバ](#)製品との関連性を高めることで、データやシステムなどの既存資産を効率的に活用できる。

XML DBは、[XML](#)ドキュメントをそのままの形で格納し、利用することで、従来のRDBで必要とされた複雑な[マッピング](#)処理が不要になり、“やわらかい”情報管理を実現しながら、優れたパフォーマンスを保つことができる。[クエリ](#)文を書く際にも、XML DBではXQuery構文のみで済む。「NeoCoreXMS」は、DPP(Digital Pattern Processing)による優れた検索性能を備えている。

今回の連携では、「[Curl](#)」で開発されたクライアントアプリケーションが[Java](#)ベースの[Webアプリケーション](#)を經由して「NeoCoreXMS」に格納された[XML](#)データを参照する。これにより、クライアントアプリ側で入出力項目や表示項目の追加変更が必要になった場合でも、「[Curl](#)」の開発環境で画面定義を修正することで[Webアプリケーション](#)やDB側の変更が不要になり、操作性やUIの柔軟性、データ管理の拡張性に優れ、ExcelやRDBベースのシステムから[Webアプリケーション](#)への移行を促進できる。

出荷日・発売日	---
価格	---